

各種委員会活動報告

広報委員会

委員長：西 美奈（電力中央研究所）
幹事：大徳 忠史（秋田県立大学）

1. 委員会構成

委員長：西 美奈（電力中央研究所），幹事：大徳 忠史（秋田県立大学），
委員：江目 宏樹（山形大学），早川 晃弘（東北大学），福江 高志（金沢工業大学），
岸本 将史（京都大学），松岡 常吉（豊橋技術科学大学），李 艶栄（茨城大学）。

2. 委員会開催報告

2. 1 第1回広報委員会（第95期&96期合同委員会）

日時・場所：2018年3月19日（月）・日本機械学会 第2会議室およびWEB会議システム
議題：引継，第96期活動計画確認，ニュースレターNo. 85, 86, 87について。

2. 2 メール審議（～3月12日）

- ・ニュースレターNo.85, 86, 87発行のための審議（原稿収集，書式統合，著者および委員校正などの作業を分担し，多くの打合せを行った）。
- ・次期体制および引継ぎの打合せおよび審議。

2. 3 第2回広報委員会（第96期&97期合同委員会）

日時・場所：2019年3月29日（金）・電力中央研究所大手町本部 710A 会議室，
議題：引継，第97期活動計画確認，ニュースレターNo. 88, 89, 90について。

3. 活動報告

3. 1 ニュースレター発行

- ・ニュースレター No. 86（12月号）およびNo. 87（4月号）を発行し部門ホームページで公開した。
- ・96期のニュースレター編集担当委員は，No. 85が江目委員，福江委員，No. 86が岸本委員，李委員，No. 87が早川委員，松岡委員であった。
- ・ニュースレターのコンテンツとして，今後も各種行事案内と報告記事の他，TED Plazaに各号2報以上の特集記事を掲載した。

3. 2 部門ホームページの更新・維持管理

- ・部門ホームページのコンテンツを逐次，最新情報に更新した。
- ・部門概要，部門長挨拶，委員会名簿，行事予定，部門賞，新着情報掲載欄の維持管理を行った。

3. 3 インフォメーションメールの運用

- ・2018年4月～9月までは48件，2018年10月～2019年2月末日まで下記の通り33件のインフォメーションメール配信を行った。

| 配信日 | 配信元組織 | 配信先組織 | タイトル |
|------------|-------------|---|--|
| 2019/1/30 | 環境工学 | 流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御 | 【締切延長:2月20日】IWEE2019/第29回環境工学総合シンポジウム2019講演申込 |
| 2019/1/30 | エンジンシステム | 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学, 技術と社会 | イブニングセミナー「- 未来に明かりを灯すスターリングエンジン -」開催のご案内 |
| 2019/1/16 | 環境工学 | 流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御 | No.19-4 第29回環境工学総合シンポジウム2019「講演募集」のご案内 |
| 2019/1/16 | 動力エネルギーシステム | 流体工学, 熱工学, エンジンシステム, 環境工学 | 動エネシンポ講演申込み受付開始のご案内【締切:2/22(金)】 |
| 2019/1/15 | 熱工学 | 熱工学, 計算力学, 材料力学, 流体工学, 機械力学・計測制御 | 第4回理論応用力学シンポジウムのご案内 |
| 2019/1/9 | 設計工学・システム | 材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | 【残席あり】No.18-159 特別講演会「実践に向けた最適設計法」開催案内 |
| 2019/1/9 | 設計工学・システム | 材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | 【残席あり】No.18-28 講習会「1DCAE実践講座(1DCAEスクール)第4回(H30年度)」 |
| 2019/1/7 | エンジンシステム | 熱工学, 動力エネルギーシステム | 講習会No.18-89「究極熱効率を達成するための技術戦略」開催のご案内 |
| 2018/12/25 | エンジンシステム | 機械材料・材料加工, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機軸潤滑設計 | NEDO主催「FCV課題共有フォーラム」の開催について |
| 2018/12/25 | 熱工学 | 熱工学, 計算力学, 流体工学 | 第7回アジア計算熱流体シンポジウム(ASCHT2019)のご案内 |
| 2018/12/18 | 動力エネルギーシステム | 機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 環境工学 | ICOPE-2019(第14回動力エネルギー国際会議)投稿&切延長(JSME受付分) |
| 2018/12/17 | 熱工学 | 熱工学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム, マイクロ・ナノ工学 | NEDOからのお知らせ(【公募予告】平成31年度「NEDO先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム」に係る公募予告について) |
| 2018/12/14 | 環境工学 | 流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 宇宙工学 | 第53回空気調和冷凍連合講演会 講演募集のご案内 |
| 2018/12/12 | 流体工学 | 計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学 | (まだ余席がございます)No.18-156講習会「流体とインフォマティクス」のご案内 |
| 2018/12/10 | 設計工学・システム | 材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | No.18-28 講習会「1DCAE実践講座(1DCAEスクール)第4回(H30年度)」 |
| 2018/12/10 | 熱工学 | 熱工学, 計算力学, 材料力学 | InterPACK2019(電子機器実装に関する国際会議)のご案内 |
| 2018/12/7 | 設計工学・システム | 材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | No.18-159 特別講演会「実践に向けた最適設計法」開催案内 |
| 2018/12/1 | 熱工学 | 熱工学 | 熱工学部門ニュースレターNo.86発行 |
| 2018/11/26 | エンジンシステム | 熱工学, 動力エネルギーシステム | 講習会No.18-89「究極熱効率を達成するための技術戦略」開催のご案内 |
| 2018/11/16 | 環境工学 | 流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御 | 環境工学国際ワークショップ(IWEE2019)2019/6/25-28@沖縄のご案内 |
| 2018/11/16 | 流体工学 | 計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学 | (まだ余席がございます)講習会『混相流入門:実験・数値計算の基礎から実例まで』開催のご案内 |
| 2018/11/14 | 環境工学 | 流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御 | No.18-157「大崎クールジェンIGCC(石炭ガス化複合発電)実証試験発電所」の見学会 |
| 2018/11/8 | 流体工学 | 計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学 | No.18-156講習会「流体とインフォマティクス」のご案内 |
| 2018/11/6 | 熱工学 | 熱工学, 計算力学, 流体工学, 動力エネルギーシステム | [再送]日本伝熱学会 関東支部セミナー「分野外の技術者にもわかる伝熱工学 - 最新の数値解析と実験計測の研究事例 -」のご案内 |
| 2018/11/6 | 熱工学 | 熱工学, 計算力学, 流体工学, 動力エネルギーシステム | 日本伝熱学会 関東支部セミナー「分野外の技術者にもわかる伝熱工学 - 最新の数値解析と実験計測の研究事例 -」のご案内 |
| 2018/11/1 | 環境工学 | 流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御 | No.18-140 世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ施設見学・バックヤードツアー |
| 2018/10/26 | 動力エネルギーシステム | 機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 環境工学 | 第14回動力エネルギー国際会議(ICOPE-2019)講演論文募集 |
| 2018/10/22 | 設計工学・システム | 材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | [訂正]No.18-152 講習会「もの、ことの本質を捉える1DCAEによる機能と価値の創造デザイン」 |
| 2018/10/22 | 設計工学・システム | 材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | No.18-152 講習会「もの、ことの本質を捉える1DCAEによる機能と価値の創造デザイン」 |
| 2018/10/12 | 設計工学・システム | 材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | No.18-27 講習会「1DCAE実践講座(1DCAEスクール)第3回(H30年度)」 |
| 2018/10/11 | 環境工学 | 熱工学, 動力エネルギーシステム | 九州大学大学院総合理工学研究院 教員公募のお知らせ |
| 2018/10/4 | 熱工学 | 熱工学 | 第96期熱工学部門賞・部門一般表彰候補者募集のご案内 |
| 2018/10/3 | 動力エネルギーシステム | 機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御 | 原子力工学国際会議(ICONE27)講演募集のご案内(アブストラクト&切延長[10月12日]) |

4. 97期広報委員会構成

委員長: 西 美奈 (電力中央研究所), 幹事: 大徳 忠史 (秋田県立大学),
 委員: 岡部 孝裕 (弘前大学), 岸本 将史 (京都大学), 徳永 敦士 (宇部工業高等専門学校),
 松岡 常吉 (豊橋技術科学大学), 馬淵 拓哉 (東北大学), 李 艶栄 (茨城大学).

以上

部門賞委員会

委員長: 丸田 薫 (東北大学)
幹 事: 荒木 拓人 (横浜国立大学)

委員会構成:

丸田 薫 (委員長), 宗像鉄雄 (部門長), 藤田修 (前部門長), 荒木拓人 (委員会幹事),
林 潤 (前委員会幹事, オブザーバー)

1. 委員会の開催

第1回部門賞委員会

日時: 平成30年5月11日(金) 14:30~15:00

場所: 日本機械学会 事務所 第一会議室

議事: 委員会の年間予定・推薦手続きの確認

第2回部門賞委員会

日時: 平成30年7月13日(金) 13:30~15:00

場所: 産総研臨海センター(ゆりかもめテレコムセンター)別館 会議室4

議事: フェロー候補者の選考, 部門賞・部門一般表彰候補者募集案内,
若手優秀講演フェロー賞の推薦依頼

第3回部門賞委員会

日時: 平成30年10月12日(金) 13:00~15:00

場所: 電中研大手町地区(大手町ビル7階 710B 会議室)

議事: 部門賞・部門一般表彰, 貢献表彰候補者の選考

第4回部門賞委員会

日時: 2019年1月11日(金) 13:00~15:00

場所: 電中研大手町地区(大手町ビル7階 710B 会議室)

議事: 部門賞・部門一般表彰, 貢献表彰候補者, 若手優秀講演フェロー賞の内定

2. フェロー候補者の推薦(学会への提出締切り9月21日)

- (1) フェロー候補者の推薦について, 今期は熱工学部門のフェロー組織推薦定数は2名であること, 組織推薦定数を超えた推薦は一般推薦枠として審議されることを確認した. その結果から, 部門推薦定数2名に加えて, 一般推薦枠として3名, 合計5名を推薦することを決定した.
- (2) 前期の候補者をふまえて, 候補者リストを作成.
- (3) 幹事は投票結果を集計し, その結果をもとに第2回部門賞委員会において, 部門推薦定数2名と一般推薦定数3名を審議・決定した後, 第2回総務委員会において諮った(7月13日).
- (4) 委員長・部門長・幹事は, 最終的に推薦書を取りまとめ, 学会本部に推薦書を送付した(9月20日).

3. 部門賞, 部門一般表彰候補者の推薦

- ・ 運営委員会構成員には第1回運営委員会にて推薦を依頼. 10月に部門ホームページに推薦書類を掲載. また, 同時にインフォメーションメールで部門登録会員全員に推薦依頼(締切りは11月22日).

4. 若手優秀講演フェロー賞候補者の推薦

- ・ 若手優秀講演フェロー賞推薦に関して、年次大会（関西大学）、熱工学コンファレンス（富山大学）の委員長に推薦を依頼した（それぞれ8月下旬）。なお、依頼時に「評価プロセス手順」「評価フォーム」を併せて送付し、年次大会については「部門横断セッション」での評価対象とする発表を事前に検討・選定してもらうように依頼した。
- ・ 運営委員会に代行運営委員会（メール審議）として附議し承認を受けた。学会理事会に報告（3月末日）。部門 HP に公表予定（本件も早めの公開とする）。贈賞は2019年10月末に開催される熱工学コンファレンス（名古屋）にて実施の予定。

5. 部門賞・部門一般表彰・若手優秀講演フェロー賞および講演論文表彰

●部門賞（5件）

- ・ 永年功績賞 宮内敏雄（東京工業大学・名誉教授）
- ・ 国際功績賞 富田栄二（岡山大学・教授）
- ・ 研究功績賞 長坂雄次（慶應義塾大学・教授）
- ・ 技術功績賞 栗山 透（東芝エネルギーシステム株式会社・首席技監）
- ・ 業績賞 鈴木雄二（東京大学・教授）

●部門一般表彰（計2件）

- ・ 貢献表彰 小宮敦樹（東北大学・准教授）
- ・ 貢献表彰 平澤良男（富山大学・教授）

●若手優秀講演フェロー賞（計7件）（○印が受賞対象者）

■2018年度年次大会（2件）

①講演番号：G0600205

講演題目：超臨界状態における高分子炭化水素燃料の熱分解吸熱特性評価に関する研究
研究者氏名：○宮浦 拓人（東北大）、大門 優（JAXA）、富岡定毅（東北大）

②講演番号：J0530304

講演題目：マイクロからサブミクロンスケールの非対称形状をもつ過熱表面上で自己推進するラ
イデンフロスト液滴の下の蒸気流の数値解析
研究者氏名：○オティック クリント（東北大）、米村 茂

■熱工学コンファレンス（5件）

①講演番号：E132

講演題目：メタンハイドレート解離界面における非定常熱物質輸送計測と律速評価
研究者氏名：○神田 雄貴（東北大）、岡島 淳之介、小宮 敦樹、圓山 重直（八戸高専）

②講演番号：I121

講演題目：イオンビーム二段階加工による IC 比の異なる PEFC 触媒層内アイオノマー分布解
析
研究者氏名：○岡田 真也（大阪大）、鈴木 崇弘、津島 将司

③講演番号：I224

講演題目：生物由来水溶性タンパク質のマイクロ波真空発泡乾燥
研究者氏名：○小川 拓馬（九工大）、鶴田 隆治、谷川 洋文

④講演番号：J211

講演題目：サブミクロン冷線による乱流温度変動の高精度計測に関する研究
研究者氏名：○成井 礼（名工大）、保浦 知也、田川 正人

⑤講演番号：I211

講演題目 : エタノール水溶液を用いた自励振動ヒートパイプの液柱振動と熱輸送特性に関する研究
研究者氏名 : ○増田 啓介 (東工大) , 長崎 孝夫, 伊藤 優

以上

学会賞委員会

委員長: 永井 二郎 (福井大学)

幹 事: 酒井 康行 (福井大学)

1. 選考方法

- 1) これまで同様に、部門登録者宛のインフォメーションメールにより応募を募り、推薦・自薦を問わず受け付けた（委員長宛でのメール申請）。
- 2) 委員による審査結果を基に、委員長が原案（順位付き部門推薦候補）を決定し、幹事・委員の意見聴取を経て部門長の下承後に必要書類を学会へ提出。

2. 選考スケジュール

| | |
|--------|------------------------------------|
| 6月 7日 | 候補推薦依頼の学会メール（1回目）（応募締切 6月 25日(月)） |
| 6月 26日 | 候補推薦依頼の学会メール（2回目）（6月 29日(金)まで延長） |
| 6月 28日 | 委員会委員（8名）の委嘱完了（1週間程度で完了） |
| 7月 2日 | 学会賞委員会委員に審査資料送付 |
| 7月 13日 | 審査締切 |
| 7月 23日 | 部門推薦候補（案）の決定と委員への送付。意見・異議受付。 |
| 7月 25日 | 意見・異議締切 |
| 7月 30日 | 部門長と候補（案）について打合せ。部門推薦候補の決定。 |
| 7月 30日 | 審査結果の通知。被推薦者には資料の最終チェックを依頼。 |
| 8月 3日 | 委員長より JSME 表彰部会へ全ての書類を発送（8月 6日必着）。 |

3. 選考結果

| | | | |
|---------------|------|----|---------|
| 日本機械学会賞（論文） | 推薦件数 | 6件 | （応募 8件） |
| 日本機械学会賞（技術） | 推薦件数 | 1件 | （応募 1件） |
| 日本機械学会奨励賞（研究） | 推薦件数 | 2件 | （応募 2件） |
| 日本機械学会奨励賞（技術） | 推薦件数 | 0件 | （応募 0件） |
| 日本機械学会教育賞 | 推薦件数 | 0件 | （応募 0件） |
| 日本機械学会賞（技術功績） | 推薦件数 | 0件 | （応募 0件） |

4. その他

- (1) 昨年と比べて、学会賞（論文）への応募が少し増え学会奨励賞（研究）への応募が減った。
- (2) 委員の負担低減を考慮して、評価コメントの記述を強制していない。
- (3) 学会賞委員会で整理した評価点や評価コメントは、JSME 表彰部会での選考過程では考慮されず、もたない。
- (4) 最終的な申請書と添付書類の具体的な作成・提出手順を事前によく考えておく必要あり。

以上

年次大会委員会

委員長：足立 高弘（秋田大学）
幹 事：小松 喜美（秋田大学）

2019 年度年次大会

開催日時 : 2019 年 9 月 8 日（日）～9 月 11 日（水）
 開催場所 : 秋田大学手形キャンパス（秋田県秋田市手形学園町 1 番 1 号）
 キャッチフレーズ : 「まんず、あべ！機械学会さ！一秋田に集うしったげおもしえ技術ー」
 大会テーマ : 「サステナビリティ」, 「AI 社会の機械工学」,
 「少子高齢化・人手不足を支えるテクノロジー」

OS 一覧(熱工学部門に関連のもの) :

S061 分散型エネルギーシステム
熱工学部門

| オーガナイザー | 所属 |
|---------|---------------|
| 小原 伸哉 | 北見工業大学 |
| 天野 嘉春 | 早稲田大学 |
| 君島 真仁 | 芝浦工業大学 |
| 佐々木 正信 | 東京電力エナジーパートナー |
| 田部 豊 | 北海道大学 |
| 千田 二郎 | 同志社大学 |
| 西村 顕 | 三重大学 |

J011 電子情報機器, 電子デバイスの強度・信頼性評価と熱制御
計算力学部門 (熱工学部門, 材料力学部門)

| オーガナイザー | 所属 |
|---------|--------|
| 小金丸 正明 | 鹿児島大学 |
| 畠山 友行 | 富山県立大学 |
| 木下 貴博 | 富山県立大学 |
| 池田 徹 | 鹿児島大学 |

J022 機械工学に基づく細胞アッセイ技術

バイオエンジニアリング部門 (マイクロ・ナノ工学部門, 流体工学部門, 熱工学部門, ロボティクス・メカトロニクス部門)

| オーガナイザー | 所属 |
|---------|--------|
| 出口 真次 | 大阪大学 |
| 木村 啓志 | 東海大学 |
| 鈴木 宏明 | 中央大学 |
| 元祐 昌廣 | 東京理科大学 |
| 川原 知洋 | 九州工業大学 |
| 須藤 亮 | 慶応義塾大学 |
| 横川 隆司 | 京都大学 |

J031 燃料電池・二次電池とナノ・マイクロ現象

材料力学部門 (流体工学, 熱工学部門, 計算力学部門, 動力エネルギーシステム部門, マイクロ・ナノ工学部門)

| オーガナイザー | 所属 |
|---------|--------|
| 橋田 俊之 | 東北大学 |
| 大島 伸行 | 北海道大学 |
| 田部 豊 | 北海道大学 |
| 花村 克悟 | 東京工業大学 |

| | |
|-------|--------------|
| 鹿園 直毅 | 東京大学 生産技術研究所 |
| 徳増 崇 | 東北大学 流体科学研究所 |

J051 乱流における運動量，熱，物質の輸送現象およびその応用
流体工学部門（熱工学部門）

| | |
|---------|---------|
| オーガナイザー | 所属 |
| 田川 正人 | 名古屋工業大学 |
| 加藤 健司 | 大阪市立大学 |
| 廣田 真史 | 三重大学 |
| 河原 源太 | 大阪大学 |
| 店橋 護 | 東京工業大学 |

J052 熱・流れの先端可視化計測

流体工学部門（動力エネルギーシステム部門，熱工学部門，バイオエンジニアリング部門，エンジンシステム部門）

| | |
|---------|---------|
| オーガナイザー | 所属 |
| 森 英男 | 九州大学 |
| 村井 祐一 | 北海道大学 |
| 小原 弘道 | 首都大学東京 |
| 石野 洋二郎 | 名古屋工業大学 |
| 武居 昌宏 | 千葉大学 |

J054 マイクロ・ナノスケールの熱流体现象

流体工学部門（熱工学部門，マイクロ・ナノ工学部門）

| | |
|---------|-------|
| オーガナイザー | 所属 |
| 米村 茂 | 東北大学 |
| 小原 拓 | 東北大学 |
| 山口 浩樹 | 名古屋大学 |
| 鈴木 雄二 | 東京大学 |

J181 交通・物流機械の自動運転

交通・物流部門(機械力学・計測制御部門，機械材料・材料加工部門，熱工学部門，スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門，技術と社会部門，流体工学部門，法工学専門会議，生産加工・工作機械部門，設計工学・システム部門，産業・化学機械と安全部門，ロボティクス・メカトロニクス部門)

| | |
|---------|--------|
| オーガナイザー | 所属 |
| 高田 博 | 東京理科大学 |
| 中野 公彦 | 東京大学 |
| 西村 秀和 | 慶應義塾大学 |
| 高田 一 | 横浜国立大学 |
| 綿貫 啓一 | 埼玉大学 |

J241 医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発

医工学テクノロジー推進会議(機械力学・計測制御部門，バイオエンジニアリング部門，材料力学部門，機素潤滑設計部門，流体工学部門，ロボティクス・メカトロニクス部門，熱工学部門，計算力学部門，情報・知能・精密機器部門，マイクロ・ナノ工学部門)

| | |
|---------|-----------|
| オーガナイザー | 所属 |
| 陳 献 | 山口大学 |
| 佐久間 淳 | 京都工芸繊維大学 |
| 葎 仲潔 | 産業技術総合研究所 |
| 藤井 文武 | 山口大学 |

以上

環太平洋熱工学会議委員会

委員長：店橋 護（東京工業大学）
幹事：深潟 康二（慶應義塾大学）

1. 運営組織

2019年2月に韓国側から再度 co-chair 交代の連絡があり、共同議長3名は以下のようになった。

JSME: Prof. Mamoru Tanahashi, Tokyo Institute of Technology
KSME: Prof. Yongchan Kim, Korea University
ASTFE: Prof. Sumanta Acharya, Illinois Institute of Technology

なお、Secretary General は

JSME: Prof. Koji Fukagata, Keio University

が確定済であったが、2019年3月中旬をめどに米国側・韓国側からも Secretary General を選出するよう依頼している。並行して組織委員会の構成を行っており、現在までに以下が決定している。（敬称略、Track/Topic 内 順不同）

Organizing Committee

店橋 護（東工大）, Conference Co-chair
Yongchan Kim, Korea University, Conference Co-chair
Sumanta Acharya, Illinois Institute of Technology, Conference Co-chair
深潟 康二（慶大）, Secretary General
高田 保之（九大）, Previous Chair
宗像 鉄雄（産総研）, JSME-TED Chair (FY2018)
丸田 薫（東北大）, JSME-TED Chair (FY2019)
（韓国側・米国側からのその他 OC メンバーは回答待ち）

International Scientific Committee（Track Chair は兼務）

Chair：須賀 一彦（大阪府立大）
Secretary General：（未定）
Track (a), Track Chair：白樫 了（東大）, 芝原 正彦（阪大）
Track (b), Track Chair：鹿園 直毅（東大）, 川那辺 洋（京大）
Track (c), Track Chair：高橋 厚史（九大）, 大宮司 啓文（東大）
（韓国側・米国側からの ISC メンバーは回答待ち）

Japanese Scientific Committee（OS オーガナイザと兼務）

Topic (a-1)：小宮 敦樹（東北大）, 巽 和也（京都大）
Topic (a-2)：深潟 康二（慶大）, 長谷川 洋介（東大）
Topic (a-3)：戸谷 剛（北大）
Topic (a-4)：櫻井 篤（新潟大）
Topic (a-5)：藏田 耕作（九大）
Topic (a-6)：榊原 潤（明大）, 津島 将司（阪大）
Topic (a-7)：齊藤 卓志（東工大）
Topic (a-8)：（未定）
Topic (b-1)：赤松 史光（阪大）, 横森 剛（慶大）
Topic (b-2)：中村 祐二（豊橋技科大）
Topic (b-3)：窪山 達也（千葉大）
Topic (b-4)：伏信 一慶（東工大）, 岩井 裕（京大）, 田部 豊（北大）
Topic (b-5)：熊野 寛之（青山学院大）

- Topic (c-1) : (未定)
 Topic (c-2) : (未定)
 Topic (c-3) : 宮崎 康次 (九工大) , 塩見 淳一郎 (東大)

Executive Committee (熱工学部門 第2回環太平洋熱工学会議 実行委員会)
 深淵 康二 (慶大) , Conference Secretary General, EC Chair
 岩本 薫 (農工大) , EC Secretary General
 店橋 護 (東工大) , Conference Co-chair
 (その他未定)

なお、日米韓以外の組織委員会委員については、第1回会議の委員に継続を依頼することを想定するが、分野や国のバランスを考慮して必要に応じて追加する。

2. Plenary Lectures / Keynote Lectures

日本側 Plenary Lecture (2名) に関しては以下の2名の先生方から内諾を得ている。
 鈴木 雄二 先生 (東大)
 小原 拓 先生 (東北大)

日本側 Keynote Lecture (4名) に関しては人選を進めている。また、韓国側、米国側 (それぞれ Plenary 2名, Keynote 4名) にも 2019年3月中旬をめどに講師を確定するよう依頼をしている。

3. スケジュール

開催期間 : 2019年12月13日(金)~12月17日(火)
 ・12月13日(金) レジストレーション, ウェルカム・レセプション
 ・12月16日(日) バンケット
 (通常ならば、12月13日日本発, 13日ハワイ着, 18日ハワイ発, 19日日本着)

会 場 : 米国ハワイ州マウイ島 ハイアット リージェンシー マウイ リゾート&スパ
 ・講演会場 : 10室以上
 ・会議レート宿泊費 : 税込199ドル/日+ポーター代11.50ドル(+TAX)
 ・リゾート費 (通常税別30ドル/日) : 無料
 ・ブロック可能数 : 250室/日 (12月14日~17日)

開催までのスケジュール

| | |
|--|--|
| 現地見・打合せ | 2019年3月8日~10日 |
| Registration fee 確定 | 2019年3月中 |
| Keynote lectures fixed | the end of March, 2019 |
| Submission site open | the end of March, 2019 |
| Abstract for review due | Apr. 30, 2019 (will be extended to May 15) |
| Notification of abstract acceptance | May 31, 2019 (will be extended to June 14) |
| Extend abstract for review due | June 30, 2019 (will be extended to June 16) |
| Notification of paper acceptance | July. 15, 2019 |
| Conference registration start | July. 15, 2019 |
| (For one presentation, one person should done registration at least) | |
| Final extended abstract due | Aug. 31, 2019 |
| Draft program | Sep 15, 2019 |
| Deadline for hotel reservation at conference rate | Sep 30, 2019 |
| Deadline for early-bird registration | Oct. 15, 2019 |
| Deadline for late registration | Nov.15, 2019 |

以上

JSME-KSME 合同会議委員会

委員長：鈴木 雄二（東京大学）
幹事：森本 賢一（東京大学）

第10回日韓熱流体工学会議（TFEC10）の準備状況は下記の通りである。

1) 議長・共同議長について

Chair : Prof. Deog Hee DOH, Korea Maritime & Ocean University (KSME, FED)

鈴木 雄二教授（東京大学）（JSME, TED）

Co-chairs : 森西 洋平教授（名古屋工業大学）（JSME, FED）

Prof. Yongchan Kim, Korea University (KSME, TED)

日本側幹事：森本 賢一講師（東京大学）

2) 開催日、開催場所

2021.3.3-3.6, 釜山で開催予定。

3) 現在の状況

鈴木委員長が釜山出張の際、10月14日にDoh教授を訪問し、TFEC9のレビューと今後の進め方などについて意見交換を行った。

- ・TFEC9では、発表540件、参加者741名だったが、Doh教授としては、どちらも増やす努力をしたい。
- ・TFEC9ではパラレルセッションが11あり、セッション当たりの聴衆が少なかったため、Flash session（short presentation+poster）を取り入れて、パラレルセッションを8程度に抑えたい。
- ・会議開催約8ヶ月前に300ワードのアブストラクト、会議開催約4ヶ月前にExtended abstract2-5ページを提出することになっていたが、最新の成果を発表してもらえるように、発表者の負荷を減らし、申込み時期を遅らせる方向で考えたい。
- ・可能であれば、2019.7末のAJK Fluids Engineering（サンフランシスコ）でKSME、JSME側の関係者が集まり、TFEC10だけでなく今後のTFECについて検討してはどうか。
- ・会場予約はこれからであり、上記の日程で問題ないか、日本側で確認する。
- ・会議開催1年半前（2019.9?）に、1st Flyerを発行する。
- ・会議開催1年前（2020.3?）に、釜山でKSME、JSME側が集まって、打合せを行う。

以上

JTST 委員会

委員長：山田 昇（長岡技術科学大学）
幹事：櫻井 篤（新潟大学）

1. 掲載状況（2019年2月28日現在）

- Vol. 1, No. 1 (pp. 1~41) : 4件
No. 2 (pp. 42~148) : 9件
- Vol. 2, No. 1 (pp. 1~133) : 12件
No. 2 (pp. 134~300) : 15件
- Vol. 3, No. 1 (pp. 1~166) : 16件
(2007日米熱工学会議特別号: Guest Editor=花村克悟(東工大))
No. 2 (pp. 167~380) : 17件
No. 3 (pp. 381~551) : 15件
- Vol. 4, No. 1 (pp. 1~201) : 17件
No. 2 (pp. 202~323) : 11件
No. 3 (pp. 202~436) : 14件
(第7回日韓熱流体工学会議特別号: Guest Editor=近久武美(北大))
No. 4 (pp. 437~517) : 8件
(第2回国際伝熱フォーラム特別号: Guest Editor=中別府 修(明治大))
- Vol. 5, No. 1 (pp. 1~188) : 15件
No. 2 (pp. 189~341) : 11件
- Vol. 6, No. 1 (pp. 1~202) : 17件
No. 2 (pp. 203~322) : 12件 (Preface を含む)
(第7回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山重直, 小原 拓(東北大))
No. 3 (pp. 323~485) : 13件
- Vol. 7, No. 1 (pp. 1~349) : 27件
(うち10件は第3回アジア計算熱流体シンポジウムからのセレクトドペーパー:
Guest Editor=須賀一彦(大阪府立大), 芝原正彦(阪大))
No. 2 (pp. 350~404) : 6件 (Preface を含む)
(第8回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山重直, 小原 拓(東北大))
No. 3 (pp. 405~496) : 9件
(第4回マイクロスケール熱流体国際会議特別号: Guest Editor=高橋厚史(九大), 鹿園直毅(東大))
No. 4 (pp. 497~766) : 19件
- Vol. 8, No. 1 (pp. 1~335) : 23件
No. 2 (pp. 336~447) : 10件 (Preface を含む)
(第9回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山重直, 小原 拓(東北大))
No. 3 (pp. 448~612) : 12件
- Vol. 9, No. 1 (JTST1~5) : 5件
No. 2 (JTST6~15) : 10件
- Vol. 10, No. 1 (JTST1~20) : 20件 (2件のReview Paper を含む)
No. 2 (JTST21~28) : 8件
- Vol. 11, No. 1 (JTST1~19) : 19件 (2件のReview Paper を含む)
No. 2 (JTST20~33) : 14件
No. 3 (JTST34~49) : 16件 (Preface を含む)
(First Pacific Rim Thermal Engineering Conference 特集号: Guest Editor=須賀一彦(大阪府立大))
- Vol. 12, No. 1 (JTST1~15) : 15件 (1件のReview Paper を含む)
No. 2 (JTST16~38) : 23件
- Vol. 13, No. 1 (JTST1~19) : 19件
No. 2 (JTST20~35) : 16件
- Vol. 14, No. 1 (JTST1~5) : 5件

2. 編修委員会

Editor-in-Chief : 山田昇 (長岡技科大)

Editors : 森昌司 (横国大, 日本伝熱学会推薦), 松原幸治 (新潟大),
麓耕二 (青山学院大), 加藤健司 (大阪市立大), 櫻井篤 (新潟大),
大宮司啓文 (東大), 高橋周平 (岐阜大), 坪井伸幸 (九工大)

Advisory Board : 高田保之 (九州大), 佐藤勲 (東工大), 門脇敏 (長岡技科大)

3. 第 96 期特記事項

・ 投稿数について

2017 年の Impact Factor は 0.421 となり, 投稿数は若干減 (詳細は別紙)

・ 特集号について

The 7th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow- 2019 (ASCHT2019)の特集号を予定している (企画代表者: 芝原正彦 (大阪大))

以上

年鑑委員会

委員長： 高橋 厚史（九州大学）
幹 事： 迫田 直也（九州大学）

2019年8月に電子版にて公開予定の「機械工学年鑑」の執筆者を2018年4月に以下のとおり決定し、2019年2月14日付けで学会の担当者大黒氏より執筆者に正式な執筆依頼と執筆要項、原稿テンプレートが送付された。原稿締切日は2019年4月8日であり、2019年6月中旬に原稿の査読を終了する予定である。

2019年「機械工学年鑑」 執筆者リスト

| 章節項 | 名称 | 内容 | 割当頁 | 執筆者氏名 | 勤務先名 | 所属 |
|-------|-------------------|---------|---------|-------|-----------|-----------------------|
| 委員長 | / | 査読 | | 高橋 厚史 | 九州大学 | 大学院工学研究院 |
| 幹事 | | 査読 | | 迫田 直也 | 九州大学 | 大学院工学研究院 |
| 8.1.1 | 伝熱 および 熱力学 | 概説 | 2000字程度 | 吉田 英生 | 京都大学 | 大学院工学研究科 |
| 8.1.2 | | 熱物性 | 2000字程度 | 東 之弘 | 九州大学 | カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 |
| 8.1.3 | | 伝熱 | 2000字程度 | 上野 一郎 | 東京理科大学 | 理工学部機械工学科 |
| 8.1.4 | | 熱交換器 | 2000字程度 | 馬場 宗明 | 産業技術総合研究所 | 省エネルギー研究部門 |
| 8.2.1 | 燃焼 および 燃焼技術 | 燃焼 | 3000字程度 | 鈴木正太郎 | 長岡技術科学大学 | 大学院技術経営研究科 |
| 8.2.2 | | 燃焼技術・燃料 | 3000字程度 | 岡崎 輝幸 | 三菱重工業株式会社 | 総合研究所 |

以上

出版委員会

委員長: 藏田 耕作 (九州大学)
幹 事: 仮屋 圭史 (佐賀大学)
委 員: 下栗 大右 (広島大学)
委 員: 濱本 芳徳 (九州大学)

1. 委員会の開催

動画発表セッション「熱工学コレクション(熱コレ) 2018」開催へ向けて、6月、7月、10月にメール会議を行い、実施要領を作成した。

2. 熱コレ 2018 の開催

熱工学コンファレンス(富山, 10月20-21日)においてOS「熱工学コレクション(熱コレ) 2018」を企画し、実施した。OSでは合計11件の発表があった。動画のウェブ公開に承諾くださった講演者からは動画ファイルを回収した。

3. ウェブサイト「熱工学ギャラリー」の更新

動画ファイルの編集とウェブサイト「熱工学ギャラリー」の更新を進め、以下の動画コンテンツ11ページを追加した。

「熱工学ギャラリー」URL <https://tedg.matrix.jp/>

- ①気液が入った水平管を無重力にすると? (九州大・高松先生)
- ②液柱内マランゴニ対流における粒子集合構造のダイナミクス (JAXA・松本先生)
- ③単純な立方体内の対流多様性 (同志社大・平田先生)
- ④円管内乱流熱伝達 (赤外線高速イメージングによる可視化) (防衛大・中村先生)
- ⑤円管内乱流がはく離・再付着した時の熱伝達 (赤外線高速イメージングによる可視化) (防衛大・中村先生)
- ⑥円管内乱流が脈動した時の熱伝達 (赤外線高速イメージングによる可視化) (防衛大・中村先生)
- ⑦光学干渉法による温度境界層・濃度境界層の可視化 (東北大・小宮先生)
- ⑧流体温度場スキャナによる加熱噴流の空間温度分布のリアルタイム計測 (名工大・保浦先生)
- ⑨メダカ胚の心臓拍動時の挙動 (宇都宮大・荒木先生)
- ⑩サーモグラフィによる熱交換器表面温度変化の可視化 (佐賀大・石田先生)
- ⑪プレート式熱交換器内部の流動 (佐賀大・仮屋先生)

4. 今後の活動

熱工学部門ウェブサイトへのリンクを完了させる。また、熱コレを毎年開催して継続的にコンテンツ収集を行えるように委員会内で検討を行う。

以上

講習会委員会

委員長: 保浦 知也 (名古屋工業大学)
幹 事: 佐野 吉彦 (静岡大学)

1. 委員会構成

委員長 保浦 知也 (名古屋工業大学), 幹 事 佐野 吉彦 (静岡大学)

2. 今期の活動計画

・部門講習会

「伝熱工学資料」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用は、近年参加者数が低迷しているが、広く募集することで引き続き集客が見込める。2019年9月24日(火)、9月25日(水) (日本機械学会会議室)での実施を決定した。

(参考) 過去5年間の講習会企画

| 企画期 | テーマ名 | 開催日時 (企画期次年で開催) | 開催場所 | 参加者数(学校(学生)/企業/その他) |
|----------------|-------------------------------------|---|-----------------|----------------------|
| 95 期 (2017) | 「伝熱工学資料(改訂第 5 版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用 | 9/27(木)10:00-16:25 9/28(金)9:00-17:05 | 日本機械学会会議室 | 20 名 (6(1)/14/0) |
| 94 期 (2016) | 「伝熱工学資料(改訂第 5 版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用 | 9/28(木)10:00-16:25 9/29(金)9:00-17:05 | 日本機械学会会議室 | 20 名 (0(0)/20/0) |
| 93 期 (2015) | 「伝熱工学資料(改訂第 5 版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用 | 9/29(木)10:00-16:25 9/30(金)9:00-17:05 | 日本機械学会会議室 | 38 名 (7(4)/28/3) |
| 92 期 (2014) | 「伝熱工学資料(改訂第 5 版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用 | 9/24(木)10:00-16:45 9/25(金)9:00-16:45 | 東京大学 山上会館 | 39 名 (7(5)/31/1) |
| 91 期 (2013) | 「伝熱工学資料(改訂第 5 版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用 | 9/4(木)9:50-16:50 9/5(金)9:00-17:00 | 東京理科大学 森戸記念館 | 53 名 (16(3)/36/1) |

・ワークショップ

過去2回(2016年、2018年)にわたり、熱工学コンファレンス会期中に「熱工学ワークショップ」として、産業界の最新の伝熱研究や要望を3名の講師に講演してもらうスタイルで実施された。2019年も同様に、熱工学コンファレンス2019(名古屋)の初日(2019年10月12日(土))に、ランチョンセッション(お弁当付き)として開催する。テーマ(講師)については検討中。

(参考) 過去5年間のプレコンファレンスセミナー・熱工学ワークショップ企画

| 企画期 | テーマ名 | 開催日時 (企画期次年で開催) | 開催場所 | 参加者数(学校(学生)/企業/その他) (有料参加者) |
|----------------|------------------------------|---------------------|-----------------|--------------------------------|
| 95 期 (2017) | 産業界で求められる伝熱研究 | 2018/10/22(土) | 富山大学 | 97 名 |
| 94 期 (2016) | (熱工学コンファレンスの開催がないためセミナーは未開催) | - | - | - |
| 93 期 (2015) | 産業界における「熱マネジメント」 | 2016/10/22(土) | 愛媛大学 | 90 名 |
| 92 期 (2014) | バイオマスを中心とした再生可能エネルギー | 2015/10/23(金)-24(土) | 関西大学 高岳館 | 23 名 (22(7)/1/0) (20) |
| 91 期 (2013) | 「地球・環境・熱」 | 2014/11/7(金)-8(土) | ホテルシーサイド 江戸川 | 20 名 (19(6)/0/1) (17) |

3. 検討課題

・講習会企画

これまでと同一内容で実施するが、開催を広く案内することで参加者が増えるように注力する。

・ワークショップ

95 期講習会委員会、総務委員会等と情報交換し、開催に向けて実施形態の検討、テーマおよび講師の選定を進める。

以上

熱工学コンファレンス 2019 実行委員会

委員長: 田川 正人 (名古屋工業大学)
幹事: 保浦 知也, 服部 博文 (名古屋工業大学)

1. 準備状況について

◆ 実行委員会

| | | |
|-----|--------|---------|
| 委員長 | 田川 正人 | 名古屋工業大学 |
| 幹事 | 保浦 知也 | 〃 |
| 幹事 | 服部 博文 | 〃 |
| 委員 | 石野 洋二郎 | 〃 |
| 〃 | 古谷 正広 | 〃 |
| 〃 | 飯田 雄章 | 〃 |
| 〃 | 内藤 隆 | 〃 |
| 〃 | 齋木 悠 | 〃 |
| 〃 | 板谷 義紀 | 岐阜大学 |
| 〃 | 廣田 真史 | 三重大学 |
| 〃 | 桑原 不二朗 | 静岡大学 |
| 〃 | 佐野 吉彦 | 静岡大学 |

◆ 講演会開催日時・会場

- ・開催日: 2019年10月12日(土), 13日(日)
- ・会場: 名古屋工業大学 御器所地区 (名古屋市昭和区御器所町)

◆ 熱工学ワークショップ

- ・開催日: 2019年10月12日(土)
- ・講習会委員会と協力して前回と同様の方法での実施を予定する。
- ・参加者100名程度を想定。

◆ 懇親会

- ・開催日: 2019年10月12日(土)
- ・会場: サッポロビール名古屋ビール園「浩養園」
(名古屋市千種区千種 2-24-10)

◆ 特別講演

講師を検討中。

◆ 参加費等

参加費等の案を以下とし、総務委員会の意見をうかがう。

- ・参加登録費 [講演論文集 (電子媒体) を含む]

| | | |
|-----|---------------|---------------|
| 会員 | (事前) 9,000 円 | (当日) 12,000 円 |
| 非会員 | (事前) 12,000 円 | (当日) 15,000 円 |
| 学生 | (事前) 4,000 円 | (当日) 6,000 円 |
- ・懇親会会費

| | | |
|----|--------------|--------------|
| 一般 | (事前) 6,000 円 | (当日) 8,000 円 |
| 学生 | (事前) 4,000 円 | (当日) 6,000 円 |

会計業務を業者に委託し、クレジットカード支払いに対応する。

◆ 講演論文集の形態と発行方法 (案), 審議事項

- ・形態: 機械学会年次大会 (下記) にならって, 「従来の原稿書式 (2~5 頁書式) に加

えて、講演会での議論に主眼を置いた簡素化した原稿書式（1頁書式）」とする。

【参考】機械学会年次大会「原稿の執筆について」

1頁書式： 1ページ限定，英文アブストラクト無し

2～5頁書式： 2～5ページ以内，英文アブストラクト付き

1頁書式は，英文アブストラクト不要で，1ページのみです。講演会での議論に主眼を置いて簡素化しております。ただし，この書式を選択された場合，各部門が行う若手優秀講演フェロー賞等の選考の対象とならないことがありますのでご注意ください。

2～5頁書式は，1ページ当たり，50文字×46行×1段組で2300字とし，2～3ページを標準としますが，最大5ページまで可能です。

・発行方法（媒体）： CDまたはUSBのいずれか。

◆ ホームページの開設

2018年12月26日にホームページを公開。

・URL： <https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf19/>

・事務局メールアドレス： tedconf19@jsme.or.jp

◆ オーガナイズドセッション（OS）の募集開始

3月4日にOSの企画募集案内を熱工学部門登録会員宛（メーリングリスト）に配信。応募締め切りは3月31日。

◆ 熱工学コレクション2019（熱コレ2019）

前回オーガナイザーから企画のお話をいただいている。協力して準備を進める。

◆ 会告

学会誌のWEB版4月号に掲載予定。

2. 今後の予定について

・7月下旬： プログラムの検討。

・9月下旬～10月初旬： 収支（予算）および準備状況の確認。

以上